フランス政府による日本の農業高校指導者のフランスへの招聘について
募集要綱

平成29年３月15日

農　林　水　産　省

１　目 的

次世代の農業経営者育成を担う日本の農業高校の指導者が、フランスの農業教育の現場や、特に持続的農業の実践をはじめとした農業の現状等について学ぶことにより、日本の農業高校における実践的な職業教育の推進を図るとともに、今後の日仏農業高校間の具体的な交流・連携に寄与することを目的とする。

２　候補者の資格

以下の要件を全て満たす者とする。

①　農業に関する学科を設置する高等学校において農業教育の推進に指導的立場にあること（校長、副校長、教頭、教諭等）

②　今回の交流を活かし、その後の具体的なフランス側との交流・連携（例：姉妹校提携、連携した研究プロジェクトの実施）を行う意欲や計画があること

③　東京にて実施予定の事前説明会に参加可能であること

３　選考方法

①　派遣を希望する者は、指定の応募様式を平成29年３月31日（金）までに以下までメールにて提出すること。なお、メール送信後２日以内（土日祝日を除く）に受付確認の返信メールがない場合には、下記問合せ先（農林水産省）まで電話にて問合せること。

②　応募書類の内容を審査し､農林水産省において候補者を選定・決定する。選定結果は、４月上旬までに応募のあった全ての者に連絡する。

４　派遣者数　５名程度（予定）

５　派遣国・派遣先

派遣国：フランス（パリ、アラス）

派遣先：農業教育行政機関、農業教育機関、農業経営体、関連企業等

６　実施時期

平成29年５月29日（月）～６月２日（金）（現地滞在）（予定）

※この他、移動日として前後に１～２日を要する。

７　経費

①　本交流に要する旅費（国際航空運賃、現地移動旅費、宿泊費等）等はフランス政府にて負担予定であり、詳細は派遣者に対して別途説明する。

②　ただし、（ア）国内旅費、（イ）東京にて実施予定の事前説明会（１回（予定））の出席に要する経費については自費とする。

８　報告書

①　研修終了後１ヶ月以内に研修報告書を提出する。なお、研修報告書については農林水産省ホームページ等で公表する予定である。

②　①とは別に、今回の交流を活かした具体的なフランス側との交流・連携等の実施状況について、フォローアップを行う予定である。

９　その他

①　現地においては通訳が同行する予定である。

②　国内旅費は派遣者側の負担とする。

③　派遣者による派遣団を組織して、団長の下に統制ある研修を行う。

④　４月又は５月に、東京にて事前説明会を実施予定である。

⑤　本交流は、文部科学省との連携・協力の下で実施される。

【応募書類提出先】kyoiku@maff.go.jp

【問合せ先】農林水産省経営局就農・女性課（農業教育グループ）
担当：三浦・中上・土屋・福岡　電話番号：03-6744-2160